

令和 6年 6月 6日

池田町議会議長 丹羽 泰彦 様

池田町議会議員 3番 片山喜博 印

## 一般質問の通告について

池田町議会会議規則第61条第2項により、次のように通告いたします。

記

### 1. 質問事項 修学旅行費用補助について

(要旨)

子育てのしやすい環境整備が急務である。特に子育て中で子どもが多い家庭にとって、所得に関わらず義務的な費用として発生する宿泊研修や修学旅行費用の負担は大きい。また、物価高騰が続く中、学校としても修学旅行にかかる費用を抑える努力をしていると思うが、その結果学習指導要領に定められる修学旅行等の本来の目的も達成が困難なのではないか。これらの費用を町として補助することで子育て家庭の費用負担を軽減し、義務教育の円滑な運営を図るべきであると考えている。 の所見を伺う。

答弁者

### 2. 質問事項 子育て家庭への支援策について

(要旨)

昨今の夏は暑く冬は寒い中、生活環境は昔とは比べようもなく良くなってきている。良い環境の中、経済面で子育てがしやすい町づくりを進めるために、子育て世帯向けの支援の充実が必要である。例えば、子育て世帯に対する夏の電気代や冬の灯油代(または灯油代相当の電気代)の支援を行うことが有効であると考えている。こういった町独自の支援をさらに充実する考えはあるか。町長の所見を伺う。

答弁者 町長

### 3. 質問事項 高島地区の防災体制について

#### (要旨)

前回3月定例会の一般質問の答弁で、避難所を4か所に集約するとあった。高島地区が入っていないが、高島地区の避難所はどのように考えているか。高島地区に長期の避難所を設置するべきである。高島地区は北部地域の中心地に立地しており、池田町市街地外に1拠点の整備をして良いのではないかと考える。町長の所見を伺う。

答弁者 町長

### 4. 質問事項 ブドウ・ブドウ酒事業会計の黒字化について

#### (要旨)

ブドウ・ブドウ酒事業会計は予算の段階で32百万円の赤字を見込んでいる。減価償却費78百万円をみてキャッシュフローを考えると46百万円の黒字とみることもできて帳簿上の赤字は問題ないと思えるかもしれないが、それはキャッシュフローがプラスであるときの話であって、実態はマイナスである。減価償却後に赤字を計上することは当初の投資を回収できていない状態であり、営利を目的としない公営企業とはいえ投資分の回収はするべきである。以下4点について町長の所見を伺う。

- 1) キャッシュフローがプラスになる事業収益はいくらと考えるか。
- 2) 減価償却後の純利益が黒字になる事業収益はいくらと考えるか。
- 3) キャッシュフロー、事業の純利益が共に黒字になるための具体的な方策や取組の方向性をどのように考えているか。
- 4) 事業収益の増加に向けた広報戦略として、具体的な取組は。

答弁者 町長

### 5. 質問事項 池田高校支援のコーディネーターの活用について

#### (要旨)

今年度配置された池田高等学校の池田高校魅力化推進員に町として期待する具体的な取組をどう考えているか。昨年度は特に池田高校の魅力を発信する広報面が弱かったと認識している。今年度は解消する見込みにあるか。

答弁者 町長

## 6. 質問事項 将来的な人材確保の取組について

(要旨)

---

3月の予算審査特別委員会で各公園維持管理業務委託料について質疑を行ったが、予算増額の理由は人手不足が要因であった。人口減や働き方の変化に伴い、人手不足は一層加速していく。今後行政サービスを維持していくためには、新たな人材の確保と共に流出も防ぐ必要があると考えるが、これらの対策について町長の所見を伺う。

---

答弁者 町長

## 7. 質問事項 定住促進住宅の拡充について

(要旨)

---

池田町内の空き家対策、子育て世帯への支援、経済対策の視点から、プロポーザル事業による定住促進住宅の充足を行うべきである。定住促進住宅の充足により子育てしやすい、移住しやすい町づくりが進められる。町長の所見を伺う。

---

答弁者 町長